

…過去から学び、未来のために今できることをする…

放射能って何？ どこがどう危ないの？

女川原発再稼働に向けて安定ヨウ素剤を準備しよう！



福島第一原発事故から今年で13年が経過しました。小学6年生だった子供も、現在25歳。中にはすでにお子さんがある方もいるかもしれません。長い月日が過ぎ、放射能汚染は、すでに過去のことと思っている方も多いでしょう。でも一部の山菜や野生のキノコにはいまだに基準値超えがみられます。そしてなにより環境中に降り積もったセシウム137はあと17年経ってやっと半分になるのです。



なにも解決していないにもかかわらず、11月、女川原発が再稼働する予定です。13年の時が過ぎ、いろいろと忘れていませんか？改めて放射能の危険性についていっしょに「学び直し」をしましょう！



- ♡ 放射能きほんのき
- ♡ 甲状腺がんって何？
- ♡ 福島第一原発事故による甲状腺がんは今どうなっているの？
- ♡ 安定ヨウ素剤の飲み方は？
などなど



日時 **11月9日(土)**

13時30分～16時30分まで(13時10分開場)

場所 大河原中央公民館会議室
(「てとと」隣)

参加費 無料

定員 30名(予約申し込みをお願いします)

「次の原発事故が起きた時に
大切なひとを守るために」

講師 **牛山 元美 さん**

【佐賀生まれ、二児の母、高知医大(現高知大)卒業 現在さがみ生協病院内科部長、島根大学医学部臨床教授、11311 疫学調査団理事、3.11 甲状腺がん子ども基金顧問、甲状腺がん支援グループあじさいの会代表】

タイムテーブル

13:10 開場

13:30~13:45 「福島第一原発事故が起きた時の宮城県の状況」
てととスタッフ 北村 保

13:50~15:20 「次の原発事故が起きた時に大切な人を守るために」
医師 牛山 元美さんのお話

15:30~16:30 質疑応答

会の終了後、希望者に
安定ヨウ素剤の配布を
予定しています。

安定ヨウ素剤って、なあに？

原発事故で大気中に放出された「放射性ヨウ素」が大量に甲状腺に取り込まれてしまうと、甲状腺がんになるリスクが高くなります。これを抑えるのが「安定ヨウ素剤」です。牛山さんの講演では「安定ヨウ素剤」についても詳しくお話していただきます。

主催 みんなの放射線測定室「てとと」
〒989-1241 宮城県柴田郡大河原町字町200
Tel/Fax 0224-86-3135
Mail:sokuteimiyagi2012@gmail.com